＊2018 年 5 月 28 日（新様式第 3 版）
2011 年 7 月 19 日（新様式第 2 版）

届出番号 11B2X00056U00003

機械器具　19　尿検査又は糞便検査用器具

一般医療機器　　一般的名称：尿比重計　JMDN コード：70187000

ウローミニ 3200

【警告】

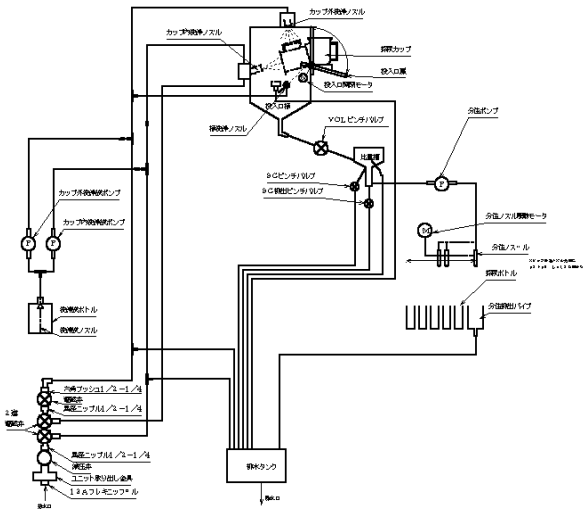
① 洗浄液はウローミニ専用洗浄液を必ず使用すること。
② 洗浄液が無くなった状態で使用しないこと。
③ 尿以外は測定（投入）しないこと。
④ 座薬や有機溶剤（トルエン等）が含まれている尿も測定（投入）しないこと。
⑤ １年に１回は、定期メンテナンスを行うこと。

【禁忌・禁止】

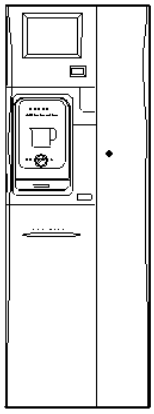
① 機器は改造しないこと。
② 機器を使用者側で勝手に修理しないこと。
③ 異物が混入した尿は測定（投入）しないこと。
（ティッシュ・トイレットペーパー、座薬、大便、血の塊等の異物が入った尿等）
④ 尿投入口以外の場所に尿、水等をかけないこと。
⑤ 取扱い方法を守り正しく使用すること。
⑥ 機器の給水口へは水道水を接続すること。不純物を含む井水や処理水は故障の原因になるので使用しないこと。
⑦ 給水配管は１３Ａステンレスフレキ管を使用し、袋ナットで外れないように正しく止めること。
⑧ 排水口は臭気止めを設けて汚物配管に接続すること。
⑨ 接地極付 AC100V コンセント以外には接続しないこと。
⑩ 機器設置後は、1 週間以上機器の電源を切らないこと。もし長期間電源を切る場合は給水元栓を締め排水ホースは施設配管から外しておくこと。

＊【形状・構造及び原理等】

１） 系統図　＊



２） 外観図



３） 寸法及び重量

寸法：幅 350×奥行 215×高さ 995 mm

重量：34kg

４） 動作原理

① 液晶ディスプレイの患者氏名が押されると、VOL ピンチバルブ、SG ピンチバルブ、SG 排出ピンチバルブが閉じ、投入口扉開閉モータにより尿投入口が開く。
② 採尿カップを尿投入口開閉扉に置く。
③ 投入口扉開閉モータにより、尿投入口扉が閉じる。尿投入口に尿が溜まった状態になる。
④ VOL ピンチバルブが開き、投入口桶の尿が無くなるまでの時間を計測する。この時間を元に尿量を算出する。
⑤ 分注ノズルが分注排出パイプ上に有る状態で、分注ポンプを駆動させ、比重槽から分注ノズルまでのチューブ内を患者の尿で満たす。（残留水分を尿で洗い流す。）
⑥ 分注ノズル駆動モータを駆動させ、分注ノズルを採尿ボトルの上に移動させる。
⑦ 分注ポンプを駆動させ、患者の尿を採尿ボトル内に注入する。
⑧ 分注ノズル駆動モータを駆動させ、分注ノズルを分注排出パイプ上に移動させる。
⑨ SG ピンチバルブを開ける。これにより比重槽内には一定の尿しか残らない状態になり、余分な尿は排水口より機器外部に排出される。
⑩ 比重槽内のフロートにより尿比重を計測する。
⑪ SG 排出ピンチバルブを開ける。比重槽内の尿が排水口より機器外部へ排出される。
⑫ 電磁弁を開け、投入口桶に水道水を供給し、機器内部を洗浄する。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

＊【使用目的又は効果】

尿の比重を測定する装置である。

＊【使用方法等】

機器の詳細な操作方法及び使用方法については、機器付属の取扱説明書「３準備」、「４尿測時の操作」、「５基本操作」、「６応用操作」、「７本体設定」の項目を参照のこと。

１）設置方法

① 電源はＡＣ１００Ｖに接続する。

② 給水口に水道水を接続する。

③ 排水口を汚物処理用排水管に接続する。

④ 洗浄液、記録紙、採尿ボトルをセットする。

⑤ 印字（締め）時刻に時刻を設定する。

２）操作方法

① 患者氏名を機器に入力する。

② 必要に応じて採尿設定を行う。（一部尿を採取しない場合は不要）

③ 測定を行う患者の氏名ボタンを押す。尿投入口扉が開いた後、尿を投入する。一定時間後尿投入口扉が自動的に閉まり測定がスタートする。スタート後は尿量、尿比重計測、分注、内部洗浄まで自動的に行われる。測定が完了し、次の患者が測定可能になると、次の患者の氏名ボタンが押下できる状態になる。

④ 印字時刻になると、２４時間分の患者の測定データが自動的に印字される。分注設定されていた場合、採尿ボトル又は採尿バッグ内の尿を採取し、採尿ボトルは洗浄、乾燥させ、再セットする。

【使用上の注意】

① 尿投入口扉の前に物を置かないこと。

② 洗浄液は必ず「ウローメセル、ウローミニ洗浄液」を使用すること。

③ 投入口網は１日１回水洗いすること。

④ 記録紙は「ウローメセル、ウローミニ、ウロエース専用記録紙」を使用すること。

⑤ 採尿ボトルは洗浄後、直射日光を避けて乾燥させること。

⑥ 麻酔薬、酸素、水素など可燃性及び引火性の気体、液体を使用するところでは使用しないこと。

⑦ 機器で使用する洗浄液は主成分として次亜塩素酸ナトリウムが含まれています。決して摂取、吸引、皮膚、目に接したりしないこと。又予備品は薬品棚等、一般の人や子供の手の届かないところに保管すること。

⑧ 機器の排水口からは尿が排出されます。排水口は汚物処理用排水管へ接続すること。

⑨ 機器が１年以上使用されていなかった場合、再使用する際、動作確認を行うこと。

⑩ 機器の電源を切り使用しない場合は、施設の給水元栓を締めて排水配管は外しておくこと。臭気トラップが乾燥して施設からの腐食ガスが逆流し重大な故障の原因になります。

⑪ 機器がアラームを表示している場合は、必ずアラームの原因を取り除き、アラーム表示が無い状態で使用すること。

⑫ 投入口網は必ずセットした状態で使用すること。

＊【保管方法及び有効期間等】

① 機器は水平に貯蔵し、機器に水がかからない状態で保管すること。

② 貯蔵する環境は周囲温度１０℃～４０℃、相対湿度３０～８５％を越えない場所に保管すること。

③ 使用期間：正規の保守点検を行った場合に限り納入された時から５年［自己認証（当社データ）による］

＊【保守・点検に係わる事項】

「使用者による保守点検事項」

① 投入口網は１日１回水洗いすること。

② アラームが発生していないか確認すること。

・洗浄液、記録紙、一部採尿容器の交換忘れ等

③ １日１回以上、取説に従って外装の清掃を行うこと。

「業者による保守点検事項」

① 機器は、１年に１回は定期メンテナンスを行うこと。

② 機器は、３年経過した時にオーバーホールを行うこと。
３年経過後は１年ごとにオーバーホールを行うこと。

＊【主要文献及び文献請求先】

＊【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者　：不二光学機械株式会社
電話番号　：０４８－９２９－３５１１

製造業者　：不二光学機械株式会社
電話番号　：０４８－９２９－３５１１